

フロン類算定漏えい量報告・公表制度
報告書作成支援ツール
(ver1.0 機能限定版)
利用マニュアル

第 1.0 版

平成 27 年 10 月

目次

1 はじめに.....	1
1.1 フロン類算定漏えい量報告・公表制度報告書作成支援ツールについて.....	1
1.2 推奨動作環境	1
1.3 本ツールをお使いになる前に	2
2 本ツールの概要.....	5
2.1 本ツールの支援範囲.....	5
2.2 本ツールの機能.....	6
2.3 基本的な利用方法.....	8
2.4 利用手順.....	9
2.4.1 報告書作成担当者の利用手順.....	9
2.4.2 入力担当者の利用手順.....	10
2.5 本ツールの構成.....	11
2.6 本ツールの入力について	11
3 各シートの利用方法.....	12
3.1 メインメニュー.....	12
3.2 充填・回収情報の入力.....	13
3.2.1 充填・回収情報を直接入力する場合	13
4 よくある質問と回答（FAQ）	17
4.1 入力について	17

1 はじめに

1.1 フロン類算定漏えい量報告・公表制度報告書作成支援ツールについて

フロン類算定漏えい量報告・公表制度報告書作成支援ツール（以下「本ツール」といいます。）は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（以下「フロン排出抑制法」といいます。）に基づく、フロン類算定漏えい量報告・公表制度において、フロン類の漏えい量を報告する義務がある事業者（特定漏えい者）に対して、フロン排出抑制法の報告書作成を支援するためのツールです。報告対象となる全ての事業者が使用できます。

本ツールでは、書面にて提出する報告書が作成できるほか、今後構築予定の電子報告・集計システムを利用して提出するための電子ファイルを作成することができます。また、本ツールは複数の事業所が入力した情報を集約することも可能であるため、各事業所で役割分担をして入力を行うこともできます。

本ツールは ver1.0（機能限定版）です。事業所情報登録機能および充填・回収情報入力機能のみご利用いただけます。
全ての機能は ver2.0（平成 28 年 3 月頃公開予定）で提供予定です。
ver1.0 で利用可能な機能は表 2-1 をご参照ください。
ver1.0 に入力した事業所情報と充填・回収情報は ver2.0 に移行することで、ver2.0 に入力したデータと集約した上で、報告書の作成を行うことができます。

1.2 推奨動作環境

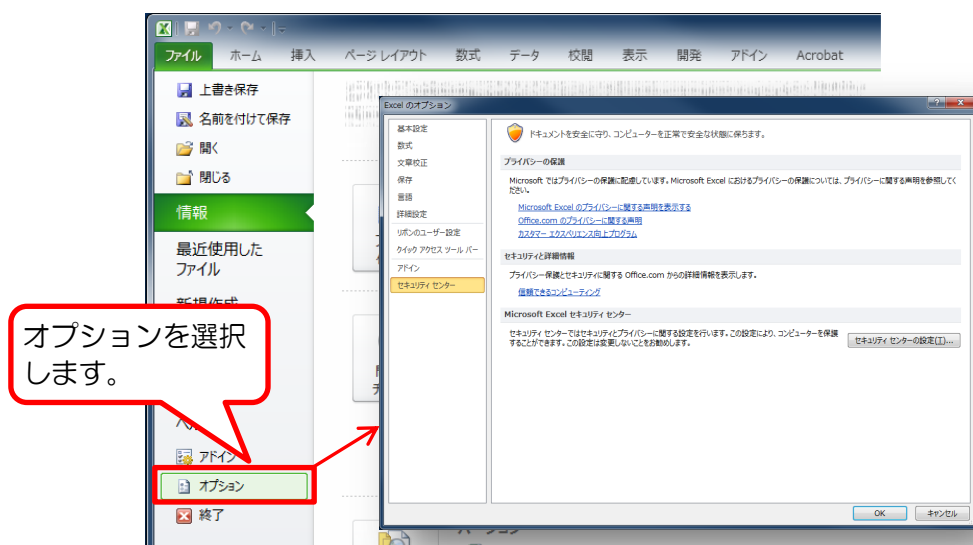
本ツールの推奨動作環境は次に示すとおりです。

OS	Windows 7 以降
ハードウェアスペック	CPU：1 ギガヘルツ (GHz) 以上 メモリ：1 ギガバイト (GB) RAM 以上 モニタ解像度：WSGA 以上
ソフトウェア	Microsoft Excel 2007 以降

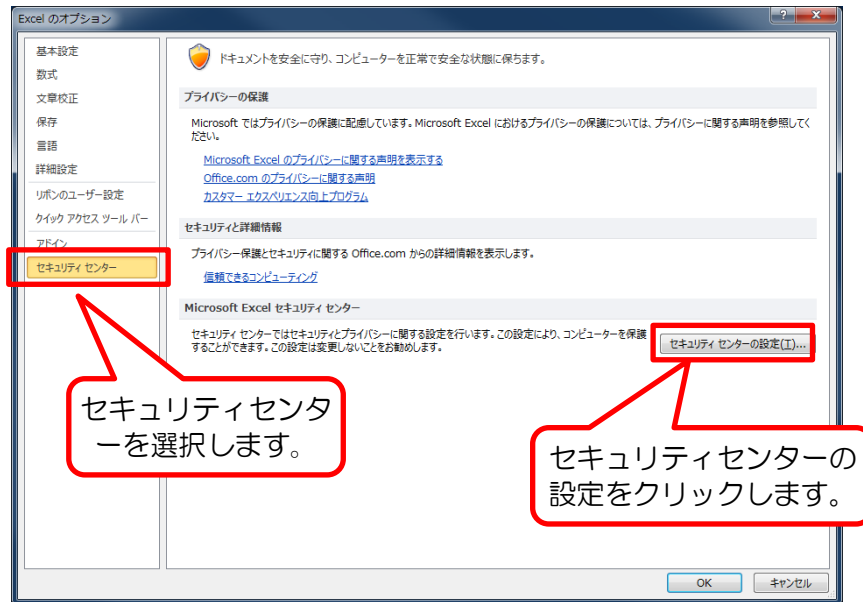
1.3 本ツールをお使いになる前に

本ツールでは Excel マクロを使用しています。Excel のセキュリティレベルによってはマクロが正常に機能しない場合がありますので、下記の手順でマクロの設定を有効にしてからお使いください。

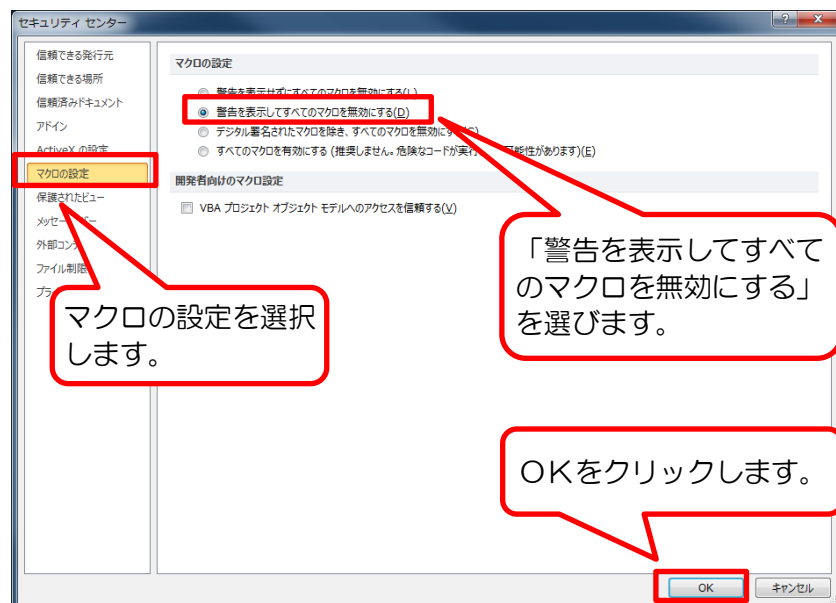
1. Excel の「ファイル」メニューから「オプション」を選択し、Excel のオプション画面を開きます。



2. Excel のオプション画面から「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定」をクリックします。

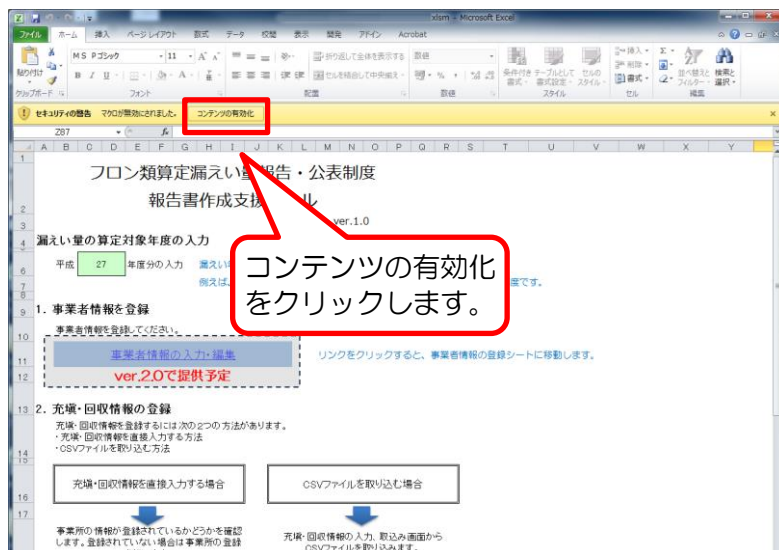


3. セキュリティセンターの画面から「マクロの設定」で、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」を選び、「OK」をクリックします。



4. Excel を保存せずに終了し、再度ファイルを開きます。

5. Excel 2010 の場合は、Excel の画面上部にセキュリティの警告が表示されますので「コンテンツの有効化」をクリックして、設定完了です。



Excel 2007 の場合はセキュリティの警告と「オプション」ボタンが表示されますので、オプションをクリックし、「このコンテンツを有効にする」をクリックし、OKをクリックします。

2 本ツールの概要

2.1 本ツールの支援範囲

フロン類算定漏えい量報告・公表制度における本ツールの支援範囲を下図に示します。
本ツールは、充填・回収証明書などの入力から報告書作成までを支援するツールです。

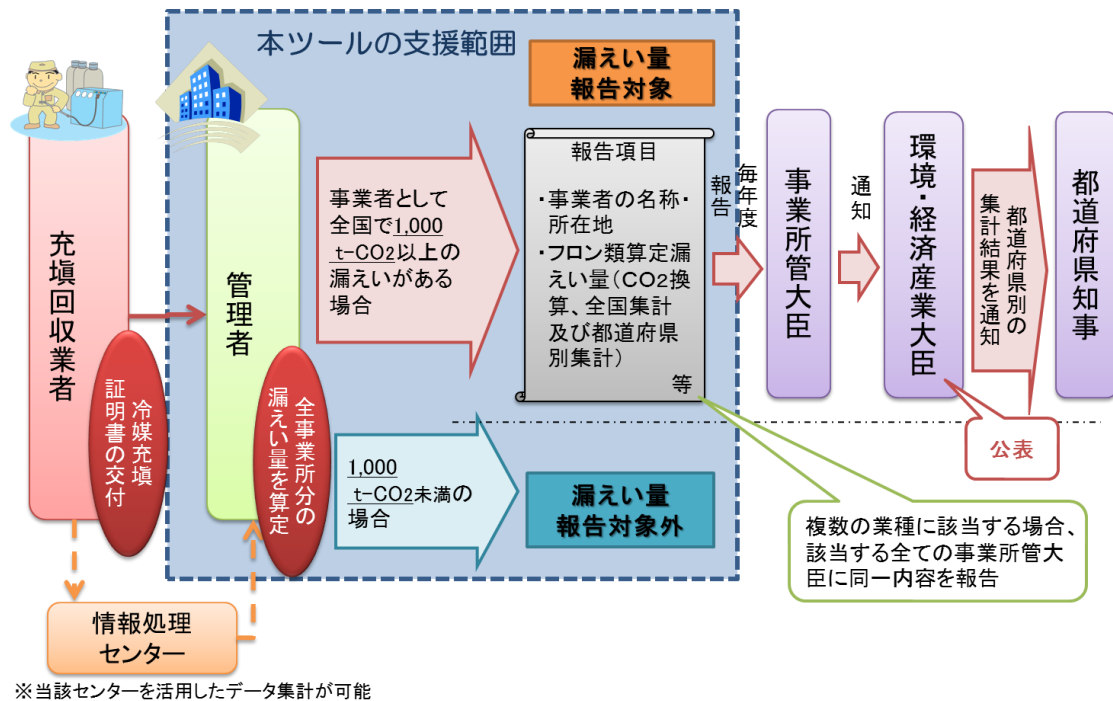


図 2-1 フロン類算定漏えい量報告・公表制度と本ツールの支援範囲

なお、本ツールで出力した報告書は、紙媒体や磁気ディスク（CD 等）に保存して提出できるだけでなく、今後構築予定の電子報告・集計システムによって事業所管大臣に提出することができます。

2.2 本ツールの機能

本ツールでは、以下のいずれかの方法で充填・回収情報を入力し、報告書の作成を行うことができます。

- ① 充填・回収証明書から本ツールに直接入力する
- ② 情報処理センターなどから入手した充填・回収データ（CSV ファイル）を本ツールに取り込む

また、本ツールでは入力した事業所情報のエクスポートや、エクスポートした事業所情報のインポートをすることもできます。エクスポートした事業所情報には、当該事業所における充填・回収情報も含まれます。

本マニュアルでは、数値入力等を行う担当者を「入力担当者」、報告対象事業者単位での最終的な取りまとめを行う担当者を「報告書作成担当者」と呼びます。また、入力担当者が作成するデータを「子データ」、報告書作成担当者が作成するデータを「親データ」と呼びます。

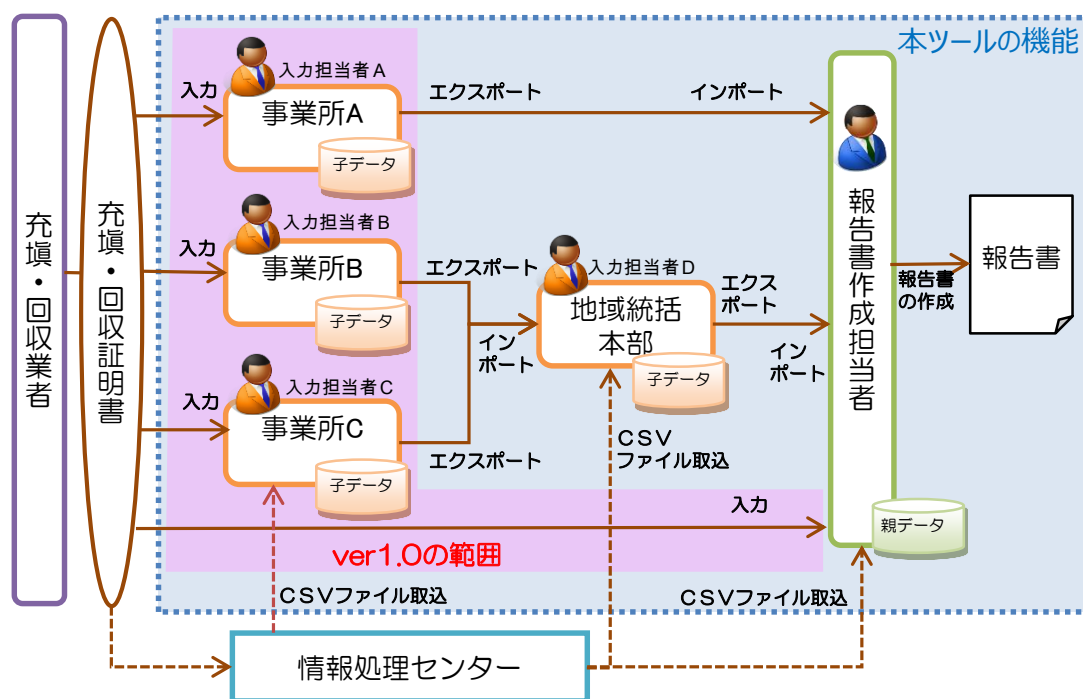


図 2-2 本ツールの機能概要

図 2-2 の中で赤い網掛け部分が ver1.0 でお使いいただける機能の範囲です。ver1.0 で利用可能な機能は表 2-1 をご参照ください。

ver1.0 では、事業所等において事業所情報および充填・回収情報を入力してデータを蓄積していただき、平成 28 年 3 月頃に公開予定の ver2.0 のツールにおいて、ver1.0 で入力したデータの集約や報告書の作成を行うことができるようになります。

表 2-1 本ツールの主な機能

No	主な機能	想定利用者		備考
		報告書作成 担当者	入力 担当者	
1	事業者情報入力機能	○		ver2.0 で提供
2	事業所情報登録機能	○	○	
3	充填・回収情報入力機能	○	○	
4	充填・回収データ（CSV ファイル）取込機能	○	○	ver2.0 で提供
5	事業所情報エクスポート機能		○	ver2.0 で提供
6	事業所情報インポート機能	○	○	ver2.0 で提供
7	報告書作成機能	○		ver2.0 で提供
8	報告書出力機能	○		ver2.0 で提供
9	入力チェック機能	○		ver2.0 で提供
10	過年度報告との比較機能（注）	○		ver2.0 で提供

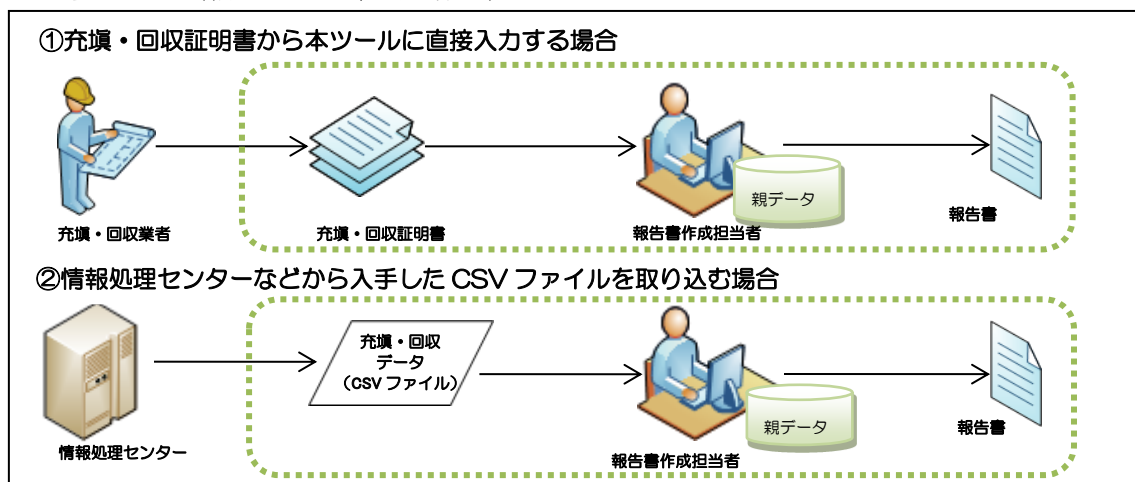
（注）過年度の冷媒種・都道府県ごとの算定漏えい量との比較を行う機能です。

2.3 基本的な利用方法

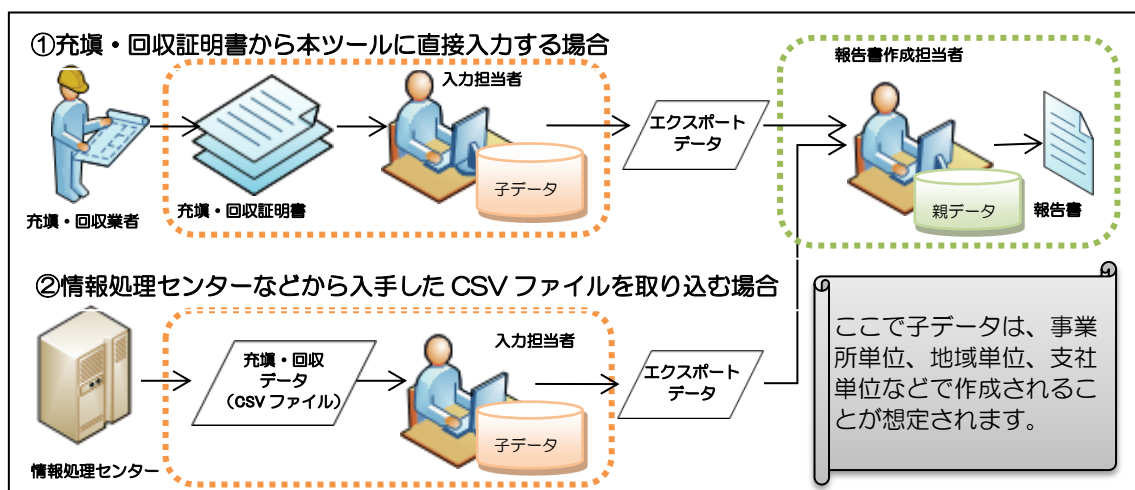
本ツールの基本的な利用方法は以下の2つがあります。

- A) 報告書作成担当者が全ての事業所の充填・回収情報を一括して入力し、報告書を作成する方法（親データを単独で作成）
- B) 入力担当者が充填・回収情報を入力し、子データを作成後、報告書作成担当者が子データを集約し報告書作成する方法（子データを集約して親データを作成）

A) 報告書作成担当者が全ての事業所の充填・回収情報を一括して入力し、報告書を作成する方法（親データを単独で作成）



B) 入力担当者が充填・回収情報を入力し、子データを作成後、報告書作成担当者が子データを集約し報告書作成する方法（子データを集約して親データを作成）



報告書作成担当者が親データの入力および他の入力担当者が入力した子データを集約して報告書の作成を行う（A パターンと B パターンが混在する）方法でも使用できます。例えば、本社の担当者が本社分のデータの入力と事業所から収集した子データを集約して報告書を作成するときに使用します。

2.4 利用手順

2.4.1 報告書作成担当者の利用手順

報告書作成担当者の利用手順を以下に示します。

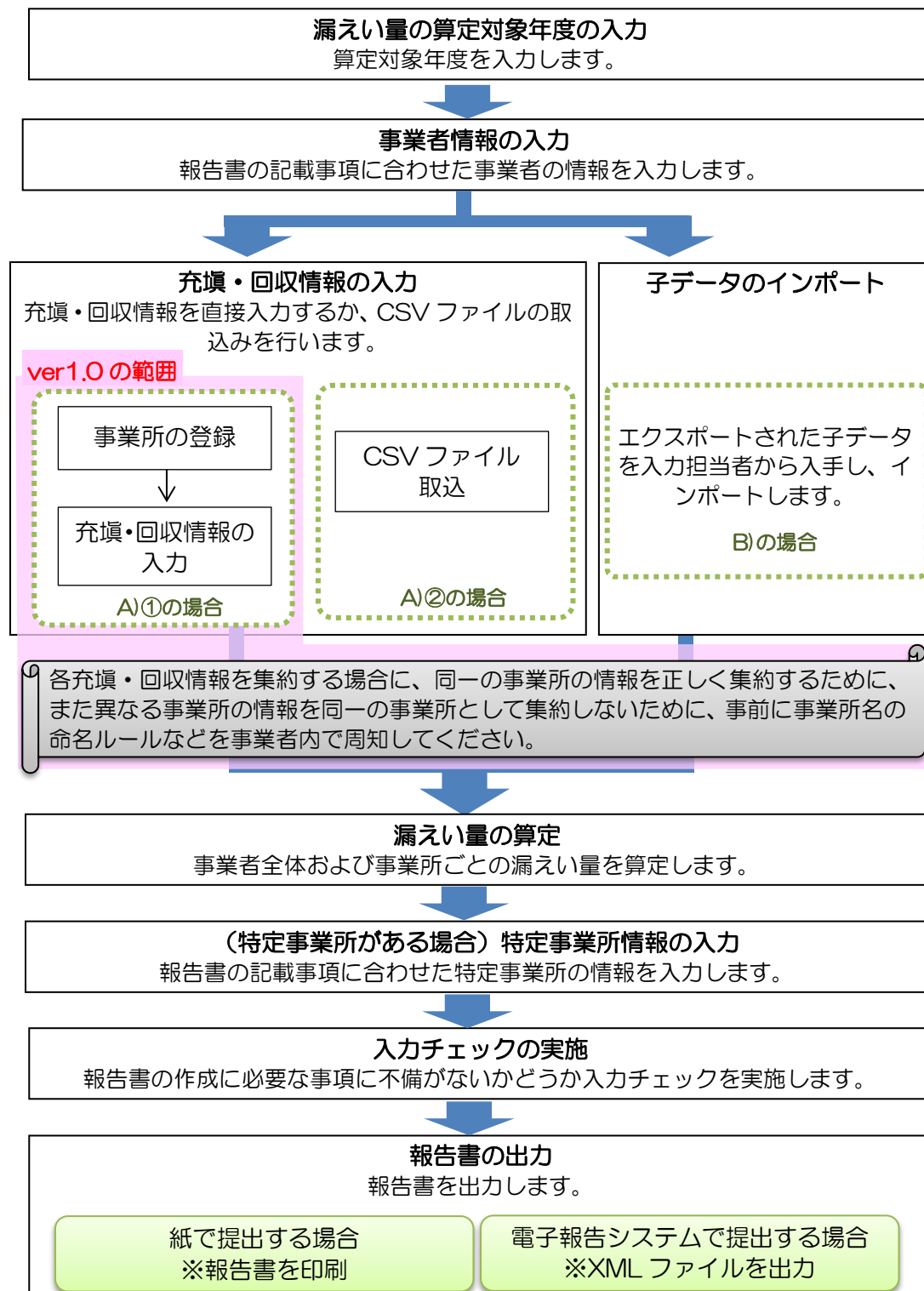


図 2-3 報告書作成担当者の利用手順

2.4.2 入力担当者の利用手順

入力担当者の利用手順を以下に示します。

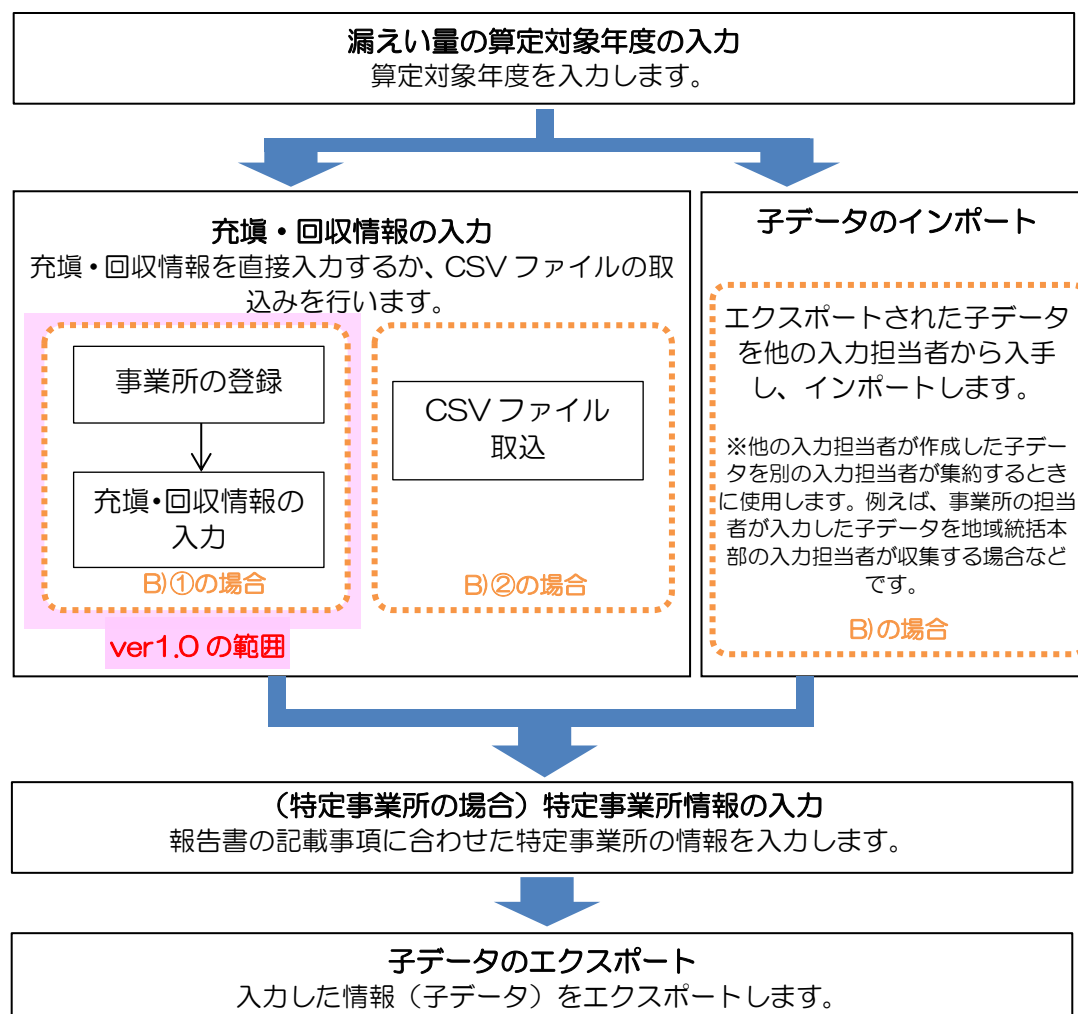


図 2-4 入力担当者の利用手順

2.5 本ツールの構成

本ツールのシート構成を下表に示します。


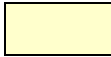

表 2-2 本ツールのシート構成

シート名	概要	想定利用者	
		報告書作成 担当者	入力 担当者
使い方	本ツールの使い方（概要）を説明するシートです。	○	○
マクロを有効にする 方法	マクロの設定を有効にするための手順を説明するシートです。	○	○
メインメニュー	算定対象年度の入力、各シートへの移動、事業所情報のエクスポートおよびインポート、報告書の作成などを行うためのシートです。	○	○
事業所の登録・一覧	事業所情報の登録や登録した事業所を一覧で表示するシートです。 本シートから事業所の詳細情報シートや特定事業所情報の入力シートに移動します。	○	○
充填・回収情報の入力・取込	充填・回収情報の入力や CSV ファイルの取り込みを行うシートです。	○	○

2.6 本ツールの入力について

本ツールは、関数やマクロを使用しているため、「シート保護」が設定されています。データの入力やレイアウトを変更する機能（行や列の追加・削除）等に制限がかけられています。

＜本ツールにおけるセル色＞

	：数値や文字列などを入力するセルです
	：プルダウンやチェックボックスなどの選択を行うセルです
	：自動的に計算結果などを表示するセルです（編集不可）

※例えば、プルダウンリストで「その他（直接入力）」を選択すると、そのセルは数値や文字列を入力するセルになるため、セル色も変更になります。

Excel の機能のうち、次の機能は制限をかけているためご使用になることができません。

表 2-3 使用できない機能

機能	操作例
セルを切り取る機能	<ul style="list-style-type: none"> セルを右クリックして「切り取り」を選択する。 ショートカットキーで[Ctrl] + X を使用する。
操作を戻す機能	<ul style="list-style-type: none"> Excel の「元に戻すボタン」を使用する。 ショートカットキーで[Ctrl] + Z を使用する。

3 各シートの利用方法

3.1 メインメニュー

「メインメニュー」シートでは、漏えい量の算定対象年度の入力、各シートへの移動、事業所情報のエクスポートおよびインポート、報告書の作成などを行います。

はじめに漏えい量の算定対象年度を入力し、各シートに移動します。

各シートでの入力方法等は次項以降をご参照ください。

フロン類算定漏えい量報告・公表制度 報告書作成支援ツール

ver.1.0

1. 漏えい量の算定対象年度の入力

平成 **27** 年度分の入力 [漏えい年度（報告日の前年度）を入力してください。](#)
[例えば、平成28年7月31日までに提出する報告書の場合は平成「27」年度です。](#)

2. 事業者情報を入力

「事業者情報の入力・編集」シートで事業者情報を入力します。

[事業者情報の入力・編集](#)

ver.2.0で提供予定

①漏えい量の算定対象年度を入力します。

[リンクをクリックすると、入力シートに移動します。](#)

3. 充填・回収情報の入力

充填・回収情報を入力する方法は以下の2つです。

- ・充填・回収情報を直接入力する方法
- ・CSVファイルを取り込む方法

充填・回収情報を直接入力する場合



「事業所の登録・一覧」シートで事業所情報を登録します。既に事業所が登録されている場合には、事業所の登録は不要です。

[「事業所の登録・一覧」シートへ](#)



「充填・回収情報の入力・取込」シートで充填・回収情報を入力します。

[「充填・回収情報の入力・取込」シートへ](#)

CSVファイルを取り込む場合



「充填・回収情報の入力・取込」シートからCSVファイルを取り込みます。

[「充填・回収情報の入力・取込」シートへ](#)

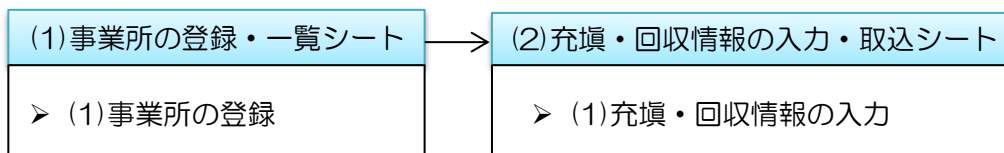
ver.2.0で提供予定

ver1.0 で利用可能な機能は充填・回収情報を直接入力する機能のみです。
その他の機能は ver2.0 で提供予定です。

3.2 充填・回収情報の入力

3.2.1 充填・回収情報を直接入力する場合

充填・回収情報を直接入力する場合は、「事業所の登録・一覧」シートで事業所の登録を行い、次に「充填・回収情報の入力・取込」シートで充填・回収情報を入力します。



(1) 「事業所の登録・一覧」シート

メインメニューで「事業所の登録・一覧」のリンクをクリックすると、「事業所の登録・一覧」シートに移動します。

「事業所の登録・一覧」シートでは、本ツールに充填・回収情報を入力する事業所の登録、事業所ごとの算定漏えい量の表示などを行います。

「メインメニュー」シートに移動します。

「充填・回収情報の入力・取込」シートに移動します。

全事業所の算定漏えい量合計を表示します。1,000t-CO₂ 以上（報告の対象）の場合はセルの色が黄色になります。

※は入力必須項目

事業所番号	事業所名※	都道府県名※	都道府県コード	算定漏えい量(t-CO ₂)	特定事業所	備考	漏えい量詳細情報表示(ver2.0)	特定事業所情報の入力(ver2.0)	事業所の削除
算定漏えい量合計: 1,941.5 t-CO ₂							充填・回収情報を直接入力する場合は初めに事業所を登録してください。		
J01	千代田事業所	東京都	13	1,732.5	<input type="checkbox"/>		詳細画面	入力画面	削除
J02	横浜事務所	神奈川県	14	209.0	<input type="checkbox"/>		詳細画面	入力画面	削除
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
					<input type="checkbox"/>		詳細画面	入力画面	削除

行追加

クリックすると入力行を1行追加します。

事業所情報の登録および算定漏えい量などを表示します。
詳細は下表をご参考ください。

表 3-1 事業所情報の入力・表示内容

※：必須入力項目

項番	項目名	入力・表示内容
1	事業所番号	事業所を識別するための番号(文字列入力可)を任意で設定し、入力します。 事業者内で事業所を識別するための番号をつけてください。
2	事業所名 (※)	事業所名を入力します。 事業所名は既に登録済みの事業所名と重複する名称を入力することはできません。シート移動時にエラーが表示されます。
3	都道府県名 (※)	事業所が所在する都道府県名をプルダウンリストから選択します。
4	都道府県コード	都道府県名を選択すると自動的に表示します。
5	算定漏えい量 (t-CO ₂)	「充填・回収情報の入力・取込」シートで入力した当該事業所の算定漏えい量の合計を表示します。 1,000t-CO ₂ 以上の場合はセルの色が黄色になります。
6	特定事業所	当該事業所が特定事業所の場合は、チェックボックスにチェックをします。 複数の事業所をまとめて入力している場合には、算定漏えい量が 1,000t-CO ₂ 以上でも、特定事業所のチェックボックスのチェックは不要です。
7	備考	本社の報告書作成担当者や次年度の担当者への申し送り事項などを入力します。本ツールをお使いになる上での備考欄であるため、報告書には反映されません。 CSV ファイルの取込機能で登録した事業所には「CSV ファイル取込」と自動で表示されます。
8	漏えい量詳細情報 表示	(ver2.0 で提供予定) 事業所ごとの充填・回収情報を表示するシートに移動します。
9	特定事業書情報の 入力	(ver2.0 で提供予定) 報告書(別紙)に必要な特定事業所の情報を入力するシートに移動します。
10	事業所の削除	当該事業所の情報を削除します。 当該事業所分として入力済みの充填・回収情報や特定事業所の情報も削除されます。

入力上の注意

- ・ 「事業所名」、「都道府県名」は必須入力項目です。この2つが入力されていないと、充填・回収情報の入力・取込みシートで事業所名を選択する際にプルダウンリストに表示されません。
- ・ 複数の都道府県にまたがった事業所を1つの事業所として登録することはできません。

メインメニューで「充填・回収情報の入力・取込」のリンクをクリックするか、「事業所の登録・一覧」シートの左上にある「充填・回収情報の入力・取込」のリンクをクリックして、「充填・回収情報の入力・取込」シートに移動します。

「メインメニュー」シートに移動します。

「事業所の登録・一覧」シートに移動します。

入力した充填・回収情報を全て削除します。
年度の切り替え時などにご利用ください。

年度の切り替え時などにご利用ください。

「メニュー」に属する
「事業所の登録一覧」に属する

充減・回収情報の入力・取込

※は入力必須項目 CSVファイルの取込 ver 2.0で提供

ID	事業所番号	事業所名	郡道府県名	移通対象コード	第一種特定製品を識別する情報			ポリエーテル樹脂(沙羅素)※	GWP	充填した量※		回収した量※		実重量(kg)	法定重量(t-CO2)	充填・回収年月日	CSVNo. (Ver 2.0)	備考	充填・回収情報の照合	
					分類	管理番号	型式			製造番号	(kg)	(t-CO2)	(kg)							(t-CO2)
J01-1	J01	千代田事業所	東京都	13	設備用(シグマエアコン)	aar-bbb-cdd-ddd	AAA	1111	R410A	2,890	350.0	731.5	0.0	0.0	350.0	731.5	2015/3/1			記録
J01-2	J01	千代田事業所	東京都	13	冷凍庫ユニット	ooo-pqr-stt	BBB	9999	その他のフロン充填の圧縮機入り	4,500	50.0	275.0	20.0	110.0	90.0	165.0	2016/3/1			記録
J01-3	J01	千代田事業所	東京都	13	設備用(サージュエアコン)	aaa-bbb-cdd-ddd	AAA	1111	R410A	2,500	400.0	850.0	0.0	0.0	400.0	850.0	2015/3/1			記録
J01-4	J02	横浜事業所	神奈川県	5	その他(ここに記入)	ddd-eee-fgg-hhh	DOD		R410A	100	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	2015/3/1			記録	

行番数 5 忘記のボタンを追加

追加したい行数を入力し、「左記の行数を追加」ボタンをクリックします。
指定した行数分、行を追加します。

充填・回収情報の入力および表示をします。
詳細は下表をご参考ください。

※：必須入力項目

項番	項目名	入力・表示内容
1	ID	<p>充填・回収情報を識別するために ID を入力します（文字列入力可）。</p> <p>ID の入力は任意ですが、事業者で複数の事業所のデータを集約する際に、どの事業所の入力データと紐付くデータであるかがわかるように事業所間でルールを決めて採番しておくくと便利です。</p>
2	事業所番号	事業所名を選択すると自動的に表示します。
3	事業所名（※）	<p>プルダウンリストから事業所を選択します。</p> <p>プルダウンリストには、「事業所の登録・一覧」シートで登録した事業所名が表示されます。必須入力項目（事業所名と都道府県名）が全て入力されていない場合には、プルダウン</p>

項番	項目名	入力・表示内容
		リストに表示されませんので、その場合は「事業所の登録・一覧」シートの入力内容を確認して下さい。
4	都道府県名	事業所名を選択すると自動的に表示します。
5	都道府県コード	事業所名を選択すると自動的に表示します。
6	分類	第一種特定製品の機器分類をプルダウンリストから選択します。 「その他（ここに入力）」を選択した場合は、具体的な分類名称を当該セルに直接入力して下さい。
7	管理番号	第一種特定製品の管理番号を入力します。
8	型式	第一種特定製品の型式を入力します。
9	製造番号	第一種特定製品の製造番号を入力します。
10	フロン類の種類（冷媒番号）（※）	フロン類の種類（冷媒番号）をプルダウンリストから選択します。 「その他のフロン類（GWP は直接入力）」を選択した場合には、「GWP」列に GWP を直接入力して下さい。
11	GWP	フロン類の種類を選択すると自動的に表示します。 フロン類の種類で「その他のフロン類（GWP は直接入力）」を選択した場合は、当該セルに GWP を直接入力して下さい。GWP を直接入力する必要があるセルは黄色になります。
12	充填した量（kg）（※）	充填した量（kg）を入力します。 充填が無かった場合には「0」を入力します。 小数点以下もそのまま入力して下さい。
13	充填した量（t-CO ₂ ）	充填した量(kg)を入力すると自動的に計算して表示します。
14	回収した量（kg）（※）	回収した量（kg）を入力します。 回収がなかった場合には「0」を入力します。 小数点以下もそのまま入力して下さい。
15	回収した量（t-CO ₂ ）	回収した量(kg)を入力すると自動的に計算して表示します。
16	実漏えい量（kg）	充填した量（kg）と回収した量（kg）を入力すると自動的に計算して表示します。 充填した量と回収した量を入力しないと計算が実行されませんので、必ず充填した量と回収した量を入力して下さい。
17	算定漏えい量（t-CO ₂ ）	充填した量（kg）と回収した量（kg）を入力すると自動的に計算して表示します。 充填した量と回収した量を入力しないと計算が実行されませんので、必ず充填した量と回収した量を入力して下さい。
18	充填・回収年月日（※）	充填・回収年月日を yyyy/mm/dd 形式で入力します。
19	csvNo.	（ver2.0 で提供予定） CSV ファイルの取込機能で充填・回収情報を登録した場合に、CSV ファイルの充填・回収情報を識別するための識別番号を自動的に表示します。
20	備考	設置場所が事業所と異なる場合などの設置場所や本社の報告書作成担当者などへの申し送り事項などを入力します。本ツールをお使いになる上での備考欄であるため、報告書には反映されません。
21	充填・回収情報の削除	充填・回収情報を削除します。

4 よくある質問と回答（FAQ）

4.1 入力について

Q1：数値や文字列を入力しても、自動的に計算結果やプルダウンリストが表示されない。

A1：マクロの設定が有効になっていないことが原因と考えられます。「1.3 本ツールをお使いになる前に」をご参照いただき、マクロの設定を有効にしてから、再度お試しください。

Q2：行追加などのボタンをクリックしたところ、「マクロ***を実行できません。このブックでマクロが使用できないか、またはすべてのマクロが無効になっている可能性があります。」というメッセージが出てしまう。

A2：マクロの設定が有効になっていないことが原因と考えられます。「1.3 本ツールをお使いになる前に」をご参照いただき、マクロの設定を有効にしてから、再度お試しください。

Q3：事業所の登録・一覧シートや充填・回収情報の入力・取込シートで、行の「削除」をクリックしても何も実行されず、行が削除されない。

A3：マクロの設定が有効になっていないことが原因と考えられます。「1.3 本ツールをお使いになる前に」をご参照いただき、マクロの設定を有効にしてから、再度お試しください。